

GW三島や多様な専門家で構成 富士山・現場人ネット発足



イコモスへ提言目指す

富士山の環境保全や観光振興策に関する国や国際機関への提言書提出を目指す「富士山・現場人・ネットワーク会議」が20日、発足した。第1回会議が三島市内で開かれ、「世界の宝」を守るべく、富士山を熟知する県内外の多様な専門家らが集まって活発な議論を交わした。

会議はクラウンドワ
ーク三島や富士山エ
ネット(山梨県富士河
口湖町)などのNPO
法人や動物写真家ら20
の団体と個人で構成す
る。富士山は世界遺産
登録の過程で、来訪者
の管理戦略や安全確保
などの課題改善をユネ
スコの諮問機関イコモ
スから勧告された。会
議はことしの開山まで
に課題への対策をまと
めた提言書の素案を作
成する方針で、イコモ
スへ提言書提出を目指す。
第1回会議では、し
尿の処理問題や年間通
じた登山者の管理体制
を話し合った。今後は
「現場目線」の提言作
成と合わせ、体験学習
会の開催なども計画す
る。「富士山の光と
影」を研究する会(東
京都)の福田幸夫代表
(60)「さいたま市」は
「広く知らせるべき課
題が知られていない現
状がある。課題はしっ
かりと国民に周知する
必要がある」と言葉に
力を込めた。

富士山が抱える課題を議論
する参加者(三島市芝本町)